

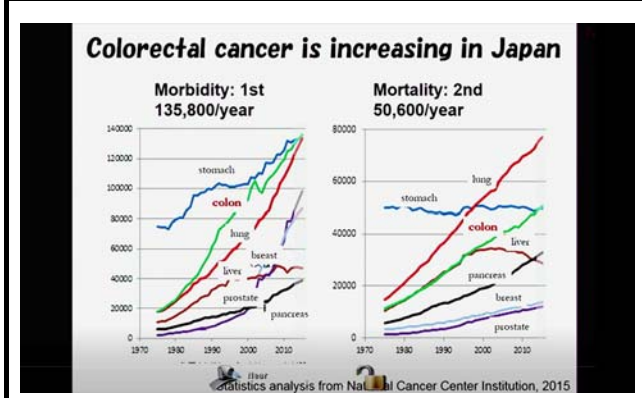
<p>【イベント名】 第3回 ボリビア内視鏡ワークショップ</p>	<p>【概要】 WGO La Paz トレーニングセンターの主催による第13回 消化器病・消化器内視鏡国際コースの一環として本カンファレンスが開催された。今回、京都府立医科大学の Dr. 吉田より大腸の内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) について非常に高いレベルの講義をしていただくことができた。会場にはラテンアメリカから 40 人の教員と 200 人の医師が参加し、高い評価が寄せられた。世界消化器病学会 (WGO) との協力による世界中の様々な遠隔医療教育プログラムへの清水教授の寄与に感謝したい。</p>
<p>【期日】 2017.04.20</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 (日本), ボリビア・日本消化器センター (ボリビア), 京都府立医科大学 (日本)</p>	



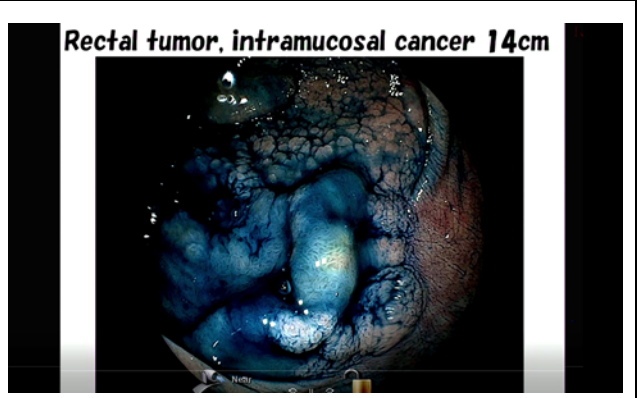
Dr. 吉田 (左) とエンジニアの木村さん (右)。
撮影場所：京都府立医科大学



ボリビア・日本消化器センターの様子。
撮影場所：ボリビア・日本消化器センター



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



内視鏡手術の様子。
撮影場所：ボリビア・日本消化器センター



メイン会場での記念写真。
撮影場所：ボリビア・日本消化器センター